

2026(令和 8)年度
別科助産専攻入学者選抜
入試問題集

目次

- ・ 推薦型選抜 小論文問題 …… p.1
- ・ 一般選抜 小論文問題 …… p.2
- 専門科目問題 …… p.3～

令和8年度 推薦型選抜試験 小論文問題（60 分）

問題

産後ケア事業の拡充における助産師の役割と課題について説明し、あなたの考えを800字以内で述べてください。

令和8年度 一般選抜試験 小論文問題（60 分）

問題

父親の育休制度が生まれた背景と概要について説明し、父親のメンタルヘルス支援における助産師の関わりについて、あなたの考えを 800 字以内で述べてください。

令和8年度 一般選抜試験

専門科目(母性看護学・小児看護学)(60 分)

問 1. 次の文章の(a ~ j)に入る語句を答えよ。

1. 日本語では性と生殖に関する健康と権利と表現され、1994 年の第 3 回国際人口開発会議で採択された概念を(a)という
2. 将来の健康や特定の病気へのかかりやすさは、胎児期や生後早期の環境の影響を強く受けて決定されるという概念を(b)という
3. 2020 年の感染症発生動向調査における 5 類性感染症のうち、すべての年齢階級において女性より男性の報告数が多いのは(c)である
4. 緊急避妊ピルは、性交後(d)時間以内にプロゲストーゲン(レボノルゲストレル)を服用する
5. 月経前 3～10 日間の黄体期に続く精神的あるいは身体的症状で、月経初来とともに消失するものを(e)という
6. 生殖機能における加齢による変化は、中枢・卵巣・子宮のうち(f)に最も早く現れる
7. 2001 年に我が国で初めて、配偶者からの暴力を「犯罪となる行為」と宣言した法律を(g)という。
8. ドメスティックバイオレンス(DV)には、緊張形成期・爆発期・(h)の 3 つの段階があり、それを繰り返しながら徐々に暴力が激しくなっていく。
9. ドメスティックバイオレンス(DV)のうち、法的な婚姻関係にない若者の親密な関係における暴力を(i)と呼ぶ
10. 2024 年の日本の合計特殊出生率は(j)である

問 2. 子宮頸がん予防について正しいものを選べ。

1. コンドームの使用では感染リスクは低減できない
2. HPV ワクチンが原則公費接種となるのは、(中学 1 年生～高校 3 年生)の期間である
3. わが国では女性への公費接種として、2価ワクチン・4 価ワクチン・9 価ワクチンが承認されている
4. わが国では男性へのワクチン接種は承認されていない

問 3. 妊娠中の管理について正しいものに○、誤っているものに×をつけよ。

1. 妊婦または家族が妊娠届を市町の保健センターに届け出を行い、母子健康手帳と妊婦一般健康診査受診票などを交付される
2. 妊婦一般健康診査の費用助成は一般的に 13 回分であり、市町によってサービスが異なる
3. 妊娠初期スクリーニング項目には、血液型・不規則抗体・HBs 抗原・HCs 抗体・HIV 抗体・風疹抗体・子宮頸がん検査などがある
4. スクリーニングで実施する HTLV-1 検査は、妊婦一般健康診査費用助成対象ではない
5. Rh(D)陰性妊婦(夫 Rh(D)陽性)が第 2 子を妊娠し、母体が抗 D 抗体陽性であれば妊娠後半期は 2 週間ごとに抗 D 抗体価を測定する
6. 妊娠糖尿病スクリーニングは、妊娠初期の随時血糖測定、血糖値に応じた 75gOGTT または HbA1c 測定、妊娠 24～28 週の 50gGCT または随時血糖測定、測定値に応じた 75gOGTT を実施する
7. 妊婦一般健康診査費用助成は里帰り分娩の場合も適用される

問 4. 以下の各文章が説明するホルモンを□から選び、記号で答えよ。

1. 妊娠成立後徐々に分泌が増え、妊娠後期にピークを示し胎盤娩出後速やかに消失する
2. 児が乳頭を吸啜することで射乳反射をおこす
3. 妊娠成立後徐々に分泌が増え、最終月経から50－70日後にピークとなる。その後徐々に減少する
4. 妊娠初期は妊娠黄体から分泌され、その後胎盤から分泌される。排卵後9日目頃から増加し後期まで上昇する
5. 妊娠初期は妊娠黄体から分泌され、その後胎盤から分泌される。排卵後徐々に分泌量が増え、妊娠経過とともに増加して妊娠 28－35週にピークを示し、妊娠36週以降減少する
6. 乳腺の発達を促し母乳の産生をおこす
7. 妊娠時、胎盤からのホルモン産生により、次第にこのホルモンが効きにくい状態になり血糖値が上がる
8. 妊婦の腸の蠕動運動を低下させ、ガスの貯留や便秘を起こしやすくする作用がある

A) アドレナリン B) hPL (ヒト胎盤性ラクトゲン) C) エストロゲン D) プロゲステロン
E) インスリン F) メラトニン G) プロラクチン H) hCG (ヒト絨毛性ゴナドトロピン) I) リラキシン
J) オキシトシン

問 5. 妊娠糖尿病について誤っているものを2つ選べ。

1. 妊娠中の明らかな糖尿病は含まれない
2. 母体の血糖やインスリンは胎盤を通過する
3. 胎児が低血糖になる可能性がある
4. 妊婦への経口血糖降下薬の使用は推奨されていない
5. 食後 2 時間の血糖が 120 mg/dl 未満となるように血糖コントロールを行う

問 6. 以下の各文章が説明する妊娠中の異常について、下の□の中から選び、記号で答えよ。

1. 原因は、感染症、子宮頸部円錐切除術既往、多胎妊娠、子宮筋腫合併妊娠などがあり、症状は下腹部圧迫感、子宮収縮、血性帯下など、治療はリトドリン塩酸塩投与である
2. 全妊娠の1－2％程度にみられ、間接的産科死亡の主な原因の一つである。近年疾患の治療成績が向上したため、増加傾向である
3. リスク因子は、肥満妊婦、多胎妊婦、高齢妊婦などであり、近年、血管内皮障害による血管攣縮と凝固亢進に関係していることが明らかになってきた
4. 流産、早産のリスクが高く、胎児に位置異常や発育障害をおこすことがあり、分娩時は弛緩出血の原因になることがある
5. 妊娠性高血圧症候群がリスク因子であり、発症すると約10％母体死亡、70％に周産期死亡が起こるとされる

A) 前置胎盤 B) 心疾患合併妊娠 C) 常位胎盤早期剥離 D) 妊娠性貧血 E) 妊娠糖尿病
F) 切迫早産 G) 甲状腺機能亢進症合併妊娠 H) 子宮筋腫合併妊娠 I) 妊娠高血圧症候群

問 7. 妊娠期の葉酸摂取について誤っているものを選び。

1. 胎児の神経管閉鎖障害の発症リスクを低減させるため、妊娠前からの摂取を進める
2. 1 日 $450\mu\text{g}$ の摂取が推奨されている
3. 葉酸は過熱により壊れやすく、水に溶けやすい
4. 栄養補助食品(サプリメント)からの摂取も推奨されている

問 8. 妊娠 12 週以降の胎児超音波検査での計測に適さないものを2つ選び。

1. 胎嚢(GS)
2. 児頭大横径(BPD)
3. 腹部周囲長(AC)
4. 頭殿長(CRL)
5. 大腿骨長(FL)

問 9. 児頭の回旋と下降について正しいものを選び。

1. 第 1 回旋では児が屈位の体制となり、児頭の矢状縫合は骨盤入口部の前後径に一致する
2. 第 2 回旋は、後頭が側方から前方に、前頭が後方に向かう回旋である
3. 第 3 回旋は、児頭の娩出後に起こる反屈進展運動である
4. 第4回旋は、肩甲が骨盤出口を通過する際に肩幅が骨盤出口の横径に一致するように回旋する

問 10. 分娩の機序について以下の(a ~ d)に入る語句を答えよ。

1. 軟産道(子宮下部・子宮頸管・膣)のうち、拡張しにくく胎児の通過の抵抗が大きいのは(a)である
2. 分娩時の羊水について、胎胞を形成し破水時に流出するものを(b)、胎児の娩出とともに流出するものを(c)という
3. 胎盤娩出後、胎盤剥離面の断裂血管が圧迫・絞扼されて血流が停止し、血栓が形成されて止血する機序を(d)という

問 11. 分娩期のケアにおける理論について以下の(a ~ c)に入る語句を答えよ。

1. 産痛緩和において、痛い部位を手で強く圧迫・摩擦すると、太い神経線維が刺激されて産通が緩和することが説明される理論を(a)理論という
2. 分娩がスムーズに経過するためには、不安や恐怖を除き、筋肉の緊張を弛緩し、精神的平静を確保することが重要であるという理論を(b)理論という
3. 出生後早期は母親の母性的感受性および新生児の外界への感受性が最も高まっている時期であり、母子間に多くの相互作用を発生させることを述べたのは(c)である

問 12. 妊娠39週1日の初産婦、妊婦健診後に自宅に帰ったところ以下の症状がみられた。すぐに病院へ連絡しなくてもよいものを 2 つ選べ。

1. 玄関で転んで腹部を打撲したが胎動はいつも通りである
2. 尿漏れか破水かどちらかわからない液体が下着に少量付着している
3. 腹部緊満感が1時間に4－5回ある
4. 血性分泌物が少量付着している
5. 胎動が減少したようである

問 13. 硬膜外無痛分娩の管理について誤っているものを選べ。

1. 持続的に分娩監視装置によるモニタリングを行う
2. 麻酔中は3～4 時間ごとに原則導尿を行う
3. 輸液管理が必要である
4. 指示された水分摂取以外は原則絶飲食とする

問 14. 産褥の復古について正しいものを 2 つ選べ。

1. 赤血球及び血色素量は産褥 1～2 日目に最低値となる
2. 尿量は変化しない
3. 分娩直後に 90 回/分を超える頻脈が認められることがある
4. 硬膜外無痛分娩は下部尿路症状のリスク因子となる
5. 子宮頸部は産褥 1 週間～10 日頃には 1 指が通る程度になる

問 15. 出生直後の新生児について正しいものを 2 つ選べ。

1. 出生後、血中レベルの酸素が増加すると、肺血管抵抗は上昇し動脈管が収縮し始める
2. 卵円孔は、右心房圧より左心房圧が大きくなることで圧力差により閉鎖する
3. 出生直後は、機能的心雑音が高頻度で聴取される
4. 新生児は体温が低下するとノルアドレナリンを分泌し、褐色脂肪細胞に作用してふるえ熱産生を促す
5. 出生後の血糖は、3～4 時間で最低値となる

問 16. 新生児の状態を評価する以下の文章で、誤っているものを 2 つ選べ。

1. デュボヴィッツ法とは、筋緊張の強さなど新生児の活気の評価法である
2. アプガースコアは、心拍数、呼吸、筋緊張、刺激反応、皮膚色の合計得点で評価する
3. シルバーマンスコア(リトアクションスコア)とは、呼吸障害の新生児の評価法であり、点数が低いほど呼吸障害が重症である
4. State は、新生児の睡眠・覚醒状態を観察する方法であり、授乳に適しているのは State3～4 である
5. 経皮的黄疸計は、一般に血液検査の実施を判別するために用いられる

問 17. 以下の新生児の異常と関連するものについて下の□の中から選び、記号で答えよ。

1. 新生児一過性多呼吸(TTN)
2. 胎便吸引症候群
3. 新生児一過性ビタミン K 欠乏症
4. GBS 感染症

A)敗血症 B)帝王切開 C)羊水混濁 D)タール便

問 18. 以下の説明に該当する免疫グロブリンを下の□の中から選び、記号で答えよ。

1. 胎盤を通過する
2. 母体由来であり、特に母乳に多く含まれる
3. 通常、抗原刺激後、最初に産生される
4. 半減期はおよそ21日である
5. 生後3～6か月頃に最も高くなり7～8歳頃までに成人値と同程度となる

A)IgA B)IgG C)IgM

問 19. 乳幼児の反射について正しいものを選び。

1. モロー反射は生後 5～6 か月で消失する
2. ランドー反射は生後 6 か月頃に出現し、1 歳 6 か月頃に消失する
3. 足底把握反射は生後 9～12 か月頃に消失する
4. パラシュート反射は生後 8～9 か月に出現し、3 歳ごろに消失する

問 20. 幼児の身体の発育と発達について正しいものを選び。

1. 乳歯の萌出は生後 5 か月～9 か月頃に始まり、4～5 歳ごろにはえそろう
2. 微細運動において、母指と他指で挟む鉗状把握ができるのは 12 か月ごろである
3. 1 歳前後の視力は 0.7 前後である
4. 1 日の睡眠時間が成人と同じになるのは 4～5 歳である

問 21. 乳幼児の心理・社会的発達について正しいものを選び。

1. 1 か月ころになると、あやすと相手の顔を見て笑う
2. 4 か月ころになると、見知らぬ人に恐怖を感じる反面、身近な人に選択的に微笑んで愛情を表出する
3. 2 歳ころになると 2 語文が話せるようになる
4. 4 歳ころになると、目の前にないものを頭の中で再現して、別のものを用いて表現するといった象徴機能が発達する

問 22. 以下の乳幼児の感染症と関連するものについて下の□の中から選び、記号で答えよ。

1. RS ウイルス感染症
2. 百日咳
3. 水痘
4. 麻疹
5. 流行性耳下腺炎

A)難聴 B)コプリック斑 C)細気管支炎・肺炎 D)レプリーゼ E)帯状疱疹
